

女川原子力発電所

2, 3号機放水口モニターの欠測について

平成26年11月6日

東北電力株式会社

1-1. 事象概要

(1) 事象内容

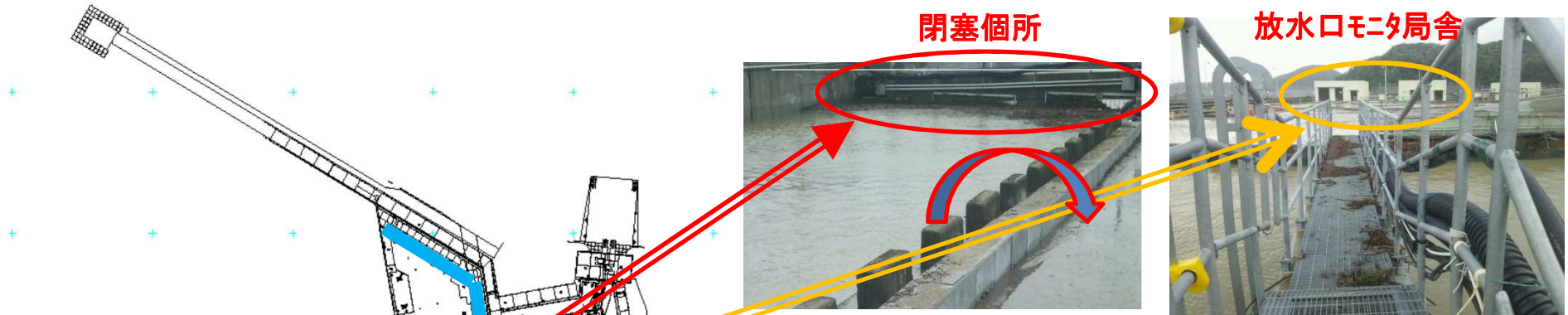
平成26年10月14日早朝，2，3号機放水口モニター（以下，「モニター」という。）の測定データが，現場より伝送できない事象が発生した。

(2) 発生原因

台風19号の豪雨に伴い，発電所構内にある一般排水路（※）の排水先が枝葉等のごみにより閉塞し溢れたことで，モニター局舎内の現場監視盤等が一部浸水したことによるものである。

※：この一般排水路ルートは，防潮堤工事に伴い付替えたものであり，平成28年3月頃には，同様事象を生じないルートへ変更予定である。

1-2. 放水口モニタ位置図・状況写真



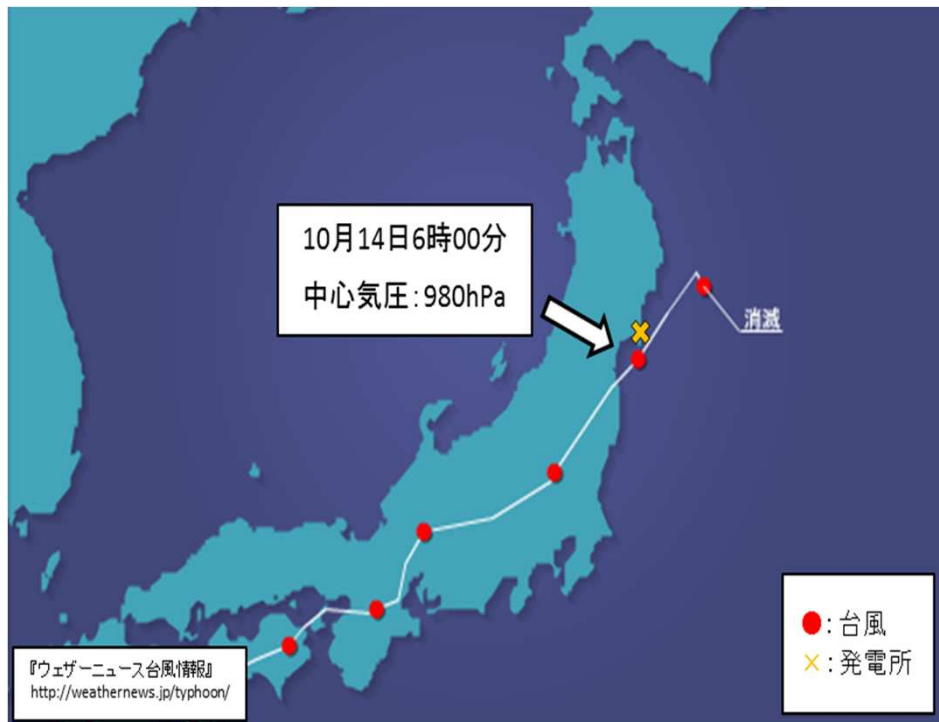
一般排水路(南側)



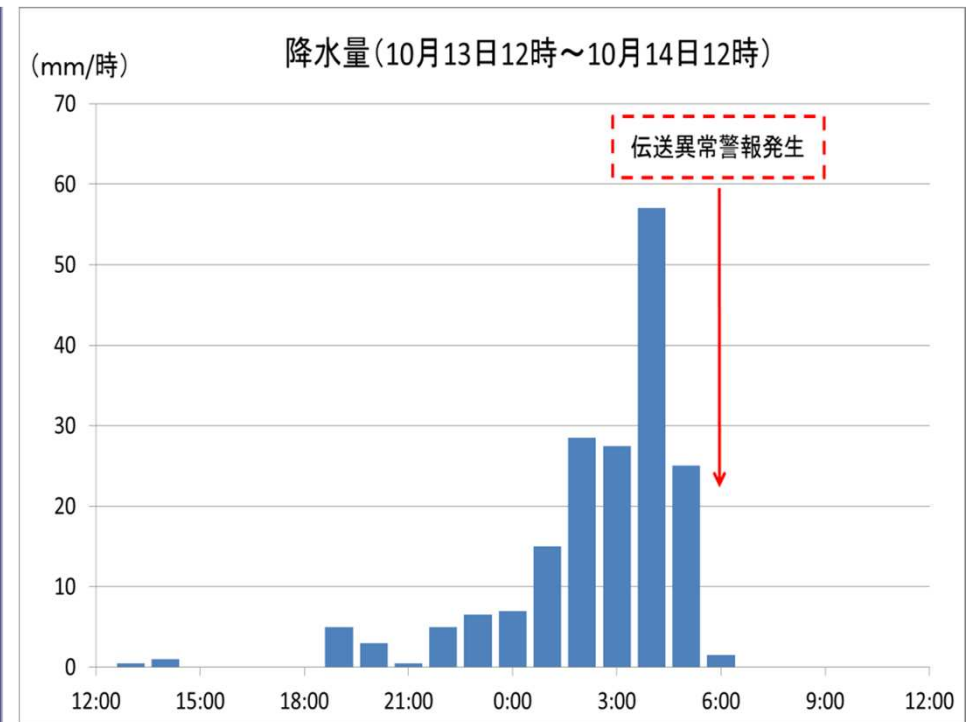
現場監視盤(3号機放水口モニタ局舎内)

2. 降水状況

事象発生時は、台風19号が宮城県沖合いを通過した際に、豪雨が確認されていた。

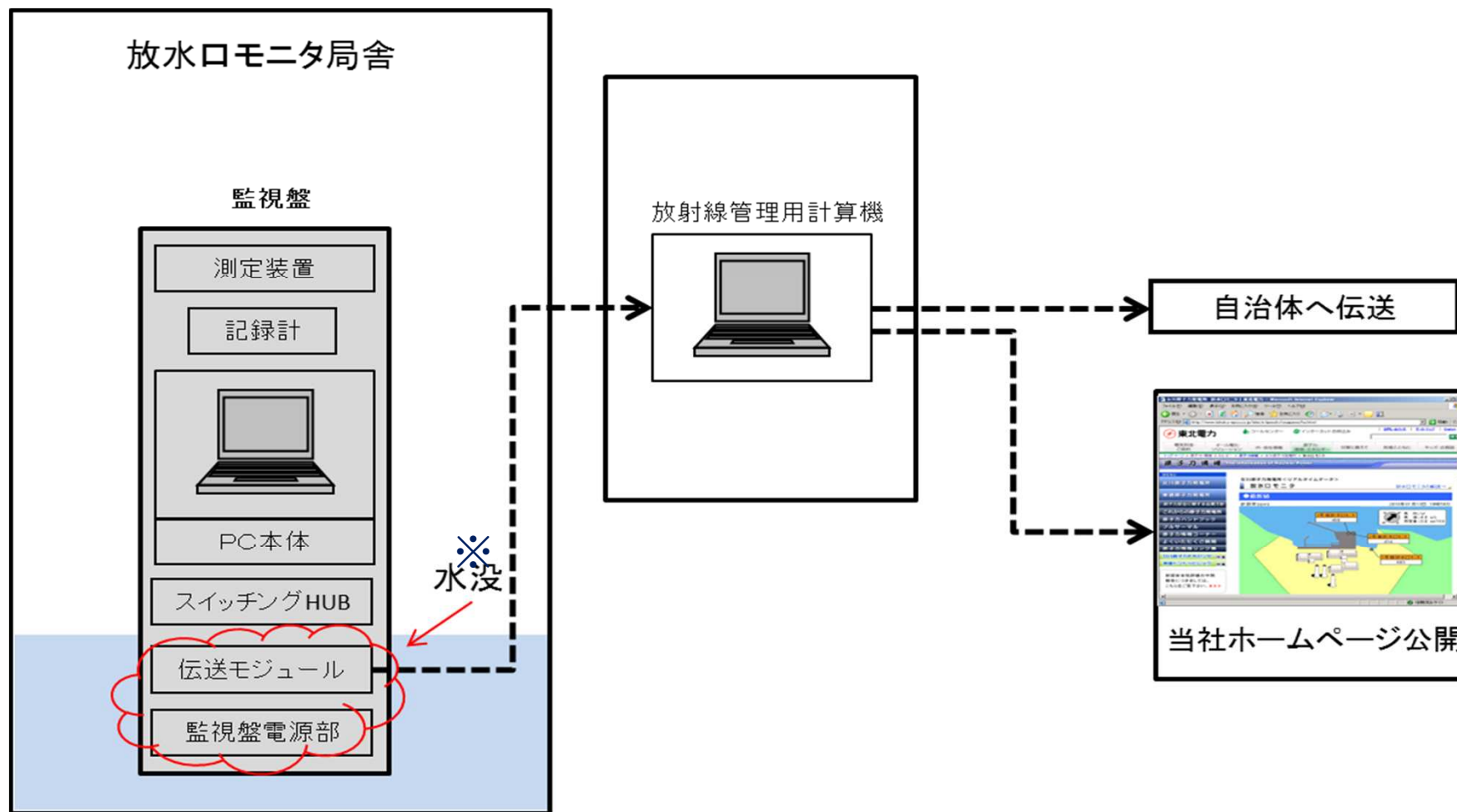


【台風19号経路図】



【降水量(発電所構内)】

3. 現場制御盤の浸水状況



※：分電盤および変圧器も一部水没

4. 復旧実績・計画(2, 3号機)

- 10月24日～ 健全性確認後測定再開
(一部仮設:監視盤電源部)
- 11月 4日～ 外部へのデータ伝送再開
(一部仮設:上記電源部 + 伝送モジュール)
- 平成27年3月 本設復旧予定

5. 再発防止対策

今回の事象を踏まえ、以下の対策を講じる。

- (1) 一般排水路堰の嵩上げ(モニター局舎側)による越流防止
(工事完了予定:平成27年 3月)
- (2) 扉周囲部を塞ぎ,扉の耐雨水浸入性向上
(工事完了予定:平成26年12月)
- (3) 局舎内部に堰の設置による測定関連機器の浸水防止
(工事完了予定:平成27年 1月)
- (4) 測定関連機器の予備器保有による長期間欠測防止
(保有予定:平成27年 2月)